

2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月7日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8008 URL https://yondoshi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 木村 祭氏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務担当 (氏名) 西村 政彦 (TEL) 03-5719-3429
 四半期報告書提出予定日 2021年7月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年2月期第1四半期 | 8,717 | 11.0 | 321 | 42.6 | 499 | 40.2 | 258 | 95.3 |
| 2021年2月期第1四半期 | 7,850 | △29.6 | 225 | △81.8 | 356 | △73.4 | 132 | △83.5 |

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 894百万円 (8.8%) 2021年2月期第1四半期 821百万円 (1,060.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年2月期第1四半期 | 12.08 | — |
| 2021年2月期第1四半期 | 6.11 | — |

(参考) のれん償却前営業利益 2022年2月期第1四半期 445百万円 2021年2月期第1四半期 349百万円
 当社は、のれん償却前営業利益を重要な経営指標としております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年2月期第1四半期 | 54,467 | 39,584 | 72.6 | 1,845.91 |
| 2021年2月期 | 53,000 | 39,543 | 74.6 | 1,844.69 |

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 39,553百万円 2021年2月期 39,513百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年2月期 | — | 40.50 | — | 40.50 | 81.00 |
| 2022年2月期 | — | — | — | — | — |
| 2022年2月期（予想） | — | 41.50 | — | 41.50 | 83.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 18,000 | 0.1 | 500 | △52.1 | 800 | △37.7 | 300 | △50.3 | 14.01 |
| 通期 | 40,500 | 2.7 | 2,800 | 1.2 | 3,300 | 3.3 | 2,200 | 35.6 | 102.71 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(参考) のれん償却前1株当たり当期純利益は、通期125円89銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年2月期1Q | 24,331,356株 | 2021年2月期 | 24,331,356株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年2月期1Q | 2,903,794株 | 2021年2月期 | 2,911,168株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年2月期1Q | 21,420,267株 | 2021年2月期1Q | 21,693,542株 |

(注) 自己株式数については、当四半期連結会計期間末に役員向け株式給付信託が所有する当社株式59,738株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年3月1日～2021年5月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、断続的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されたこと等により、依然として厳しい状況が続きました。

流通業界におきましても、外出自粛要請や、店舗の休業・時間短縮営業の影響を受けたことに加え、雇用・所得環境の悪化により消費者マインドが更に冷え込んだことから、個人消費は低迷しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、第6次中期経営計画初年度となる2021年度におきまして、経営環境の急激な変化に対し、当社グループの強みを最大限発揮することで、お客様の期待を越える商品・サービスを提供し、更なる成長を目指してまいります。主力ブランドである「4℃」のブランド価値向上に向けた投資を実行するとともに、「パレット」の成長により第二の柱を確立することで、強固な事業ポートフォリオを構築してまいります。そして、信頼性の高い企業グループの構築に向けCSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高87億17百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益3億21百万円（前年同期比42.6%増）、経常利益4億99百万円（前年同期比40.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億58百万円（前年同期比95.3%増）となりました。また、重要な経営指標として定めている「のれん償却前営業利益」は4億45百万円（前年同期比27.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(ジュエリー事業)

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、当第1四半期連結累計期間も緊急事態宣言の発出がなされたことを受けて、大規模な休業、時間短縮営業を実施することとなりましたが、前年同期に比べて対象地域が限定されていたことから、売上高は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は37億64百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は85百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

(アパレル事業)

デイリーファッション「パレット」を展開する㈱アージュは、新店効果やアイテムの拡充、販促施策の強化により売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

アスティグループは、コロナ禍によるイベントの縮小や需要の停滞もあるなか、経営効率の改善に継続的に努めました。

その結果、売上高は49億53百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は3億49百万円（前年同期比80.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、投資有価証券が19億93百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して14億67百万円増加し、544億67百万円となりました。負債は主に、短期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して14億26百万円増加し、148億83百万円となりました。純資産は前連結会計年度末と比較して41百万円増加し、395億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、本日（2021年7月7日）公表の「2022年2月期第2四半期累計期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,232 | 2,114 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,587 | 2,528 |
| 商品及び製品 | 7,718 | 8,496 |
| 仕掛品 | 285 | 286 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,081 | 898 |
| その他 | 713 | 1,027 |
| 貸倒引当金 | △3 | △4 |
| 流動資産合計 | 15,616 | 15,346 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,982 | 4,905 |
| 土地 | 5,492 | 5,492 |
| その他（純額） | 538 | 519 |
| 有形固定資産合計 | 11,013 | 10,916 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,730 | 2,606 |
| その他 | 201 | 182 |
| 無形固定資産合計 | 2,932 | 2,789 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 18,489 | 20,483 |
| 退職給付に係る資産 | 487 | 496 |
| その他 | 4,516 | 4,488 |
| 貸倒引当金 | △55 | △53 |
| 投資その他の資産合計 | 23,438 | 25,414 |
| 固定資産合計 | 37,383 | 39,120 |
| 資産合計 | 53,000 | 54,467 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,148 | 3,457 |
| 短期借入金 | — | 1,600 |
| 未払法人税等 | 643 | 270 |
| 賞与引当金 | 269 | 277 |
| 役員賞与引当金 | 25 | 13 |
| 資産除去債務 | — | 0 |
| その他 | 2,715 | 2,298 |
| 流動負債合計 | 6,802 | 7,918 |
| 固定負債 | | |
| 役員株式給付引当金 | 123 | 121 |
| 退職給付に係る負債 | 497 | 494 |
| 資産除去債務 | 1,428 | 1,435 |
| その他 | 4,605 | 4,913 |
| 固定負債合計 | 6,654 | 6,965 |
| 負債合計 | 13,457 | 14,883 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,486 | 2,486 |
| 資本剰余金 | 7,208 | 7,208 |
| 利益剰余金 | 31,978 | 31,367 |
| 自己株式 | △6,215 | △6,199 |
| 株主資本合計 | 35,458 | 34,862 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,315 | 4,947 |
| 繰延ヘッジ損益 | 8 | 12 |
| 土地再評価差額金 | △233 | △233 |
| 為替換算調整勘定 | 75 | 71 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △110 | △107 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,055 | 4,690 |
| 新株予約権 | 29 | 30 |
| 純資産合計 | 39,543 | 39,584 |
| 負債純資産合計 | 53,000 | 54,467 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月 1日 至 2020年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月 1日 至 2021年5月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 7,850 | 8,717 |
| 売上原価 | 3,735 | 4,043 |
| 売上総利益 | 4,114 | 4,674 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,889 | 4,352 |
| 営業利益 | 225 | 321 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 72 | 20 |
| 受取配当金 | 47 | 47 |
| 投資不動産賃貸料 | 18 | 18 |
| 為替差益 | — | 11 |
| 助成金収入 | — | 80 |
| その他 | 5 | 8 |
| 営業外収益合計 | 144 | 185 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 0 |
| 投資不動産減価償却費 | 1 | 1 |
| 投資不動産管理費用 | 0 | 0 |
| 為替差損 | 6 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 0 |
| 保険解約損 | 3 | 2 |
| その他 | 0 | 2 |
| 営業外費用合計 | 13 | 7 |
| 経常利益 | 356 | 499 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 13 | — |
| 雇用調整助成金 | 154 | 12 |
| 特別利益合計 | 168 | 12 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 23 | 10 |
| 投資有価証券評価損 | 0 | — |
| 店舗閉鎖損失 | 14 | — |
| 休業手当 | 201 | 10 |
| 特別損失合計 | 239 | 21 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 285 | 491 |
| 法人税等 | 152 | 232 |
| 四半期純利益 | 132 | 258 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 132 | 258 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 132 | 258 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 720 | 631 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1 | 3 |
| 為替換算調整勘定 | △34 | △4 |
| 退職給付に係る調整額 | 1 | 3 |
| その他の包括利益合計 | 688 | 635 |
| 四半期包括利益 | 821 | 894 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 821 | 894 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員向け株式報酬制度)

当社は、2018年5月17日開催の第68回定時株主総会に基づき、2018年11月28日より、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く）及び監査等委員である取締役（社外取締役を除く）、当社の主要グループ子会社の取締役および監査役（社外監査役を除く）を対象者（以下、「取締役等」という）とする株式報酬制度（以下、「本制度」という）を導入しております。

1 取引の概要

本制度は、当社が設定した信託（以下、「本信託」という）に対して金銭を拠出し、本信託が当該金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて対象会社の取締役等に対して、対象会社が定める役員報酬に係る役員向け株式給付信託株式給付規程に従って、当社株式を給付する株式報酬制度であります。また、取締役等が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

2 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末144百万円、67,136株、当第1四半期連結会計期間末128百万円、59,738株であります。

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響の仮定や会計上の見積りに重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|-------|--------------|--------------------------------|
| | ジュエリー事業 | アパレル事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,414 | 4,436 | 7,850 | — | 7,850 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | 47 | 47 | △47 | — |
| 計 | 3,414 | 4,484 | 7,898 | △47 | 7,850 |
| セグメント利益 | 152 | 193 | 346 | △120 | 225 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△120百万円は、のれん償却額△124百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△123百万円、セグメント間取引消去額127百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|-------|--------------|--------------------------------|
| | ジュエリー事業 | アパレル事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,764 | 4,953 | 8,717 | — | 8,717 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | 39 | 39 | △39 | — |
| 計 | 3,764 | 4,992 | 8,757 | △39 | 8,717 |
| セグメント利益 | 85 | 349 | 435 | △114 | 321 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△114百万円は、のれん償却額△124百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△125百万円、セグメント間取引消去額135百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。